

文京区補助金等チェックシート

所属 保健衛生部予防対策課

1 補助金の名称等

30年度調査

補助金の名称	骨髓移植ドナー支援事業助成金						
根拠規定等	文京区骨髓移植ドナー支援事業助成金交付要綱						
創設年月	平成	30	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	終了予定年月
直近の見直し年月			年		月	経過年数 〔自動計算〕	
見直しの内容							
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	実施計画事業番号	
	06衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	13骨髓移植ドナー支援	01骨髓移植ドナー支援	-	
補助金の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給						

2 補助金の概要

補助目的	骨髓移植等の一層の推進と骨髓ドナー登録者の増加を図る。						
補助事業等の内容	文京区在住のドナー及びドナーが従事する事業者に、入院又は通院期間中の休業補償として助成金を交付する。						
補助対象経費の内容	入院又は通院期間中の休業補償						
補助事業者等	<input checked="" type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他						
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕						
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 { 補助率 } <input type="checkbox"/> 定額 { 補助額 }						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助単価 { 補助単価 20,000円 (上限あり) 10,000円 (上限あり) 単位 人日 } <input type="checkbox"/> 規定なし <input type="checkbox"/> その他						
	〔その他の場合は具体的に記入〕 ドナーに対する助成 20,000円/日 最大7日間 事業者に対する助成 10,000円/日 最大7日間 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕 東京都医療保健政策区市町村包括事業 1/2 補助要件						
公募の状況	ホームページ、区報等にて周知する。						
実績報告書時における用途の確認方法	<input type="checkbox"/> 領収書(写し) <input type="checkbox"/> 契約書 <input type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input checked="" type="checkbox"/> その他 { 骨髓等の提供が完了したことの証書 }						
補助・単独の状況	<input type="checkbox"/> 区単独		負担割合	区 1/2	国 -	都 1/2	補助対象者 -
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)		上乗せの内容・理由				

3 補助金の交付の適否に関する基準〔A:適合している、B:適合していない、C非該当〕

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	A	骨髄移植ドナーに対する支援についての要望は高くなっており、多くの自治体で実施している。
	基本構想、実施計画、個別計画等の区の政策に適合しているか	A	基本構想に定める、だれもがいつまでも笑顔で健康に暮らせるまちに繋がる事業である。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	A	東京都の補助事業でもあり、区が補助すべき事業である。
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	A	善意による行為に対する負担軽減のための助成であるので、ドナー登録者促進のために必要である。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	A	要綱に定め周知を図るので、確保される。
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	A	要綱に基づき審査の上決定する。
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	A	ドナー登録者の増加を促すためにも、ドナーの負担軽減となる助成金の交付が効果的である。
	補助金の交付による効果が認められるか	A	当事業の利用により骨髄提供時のドナーの負担が軽減されるため、ドナー登録者の増加が見込まれる。
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	A	当事業の利用により骨髄提供時のドナーの負担が軽減されるため、ドナー登録者の増加が見込まれる。
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	A	ドナー登録者の増加を図ることが、骨髄移植等の推進に繋がっている。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか		
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか		
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か		

4 交付実績

(件、千円)

項目	30年度(予算)			
交付(見込み)件数	2			
決算(予算)額	420			
国庫支出金	0			
都支出金	210			
その他	0			
一般財源	210			
29年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)				

5 課題及び今後の方向性

骨髄等の移植の推進のため、事業を広く周知をし進めていく。